



唐津虹の会 50代から80代の15名で活動中 特集ページで紹介

市議会 だより

- P2 補正予算
- P2～P5 議案質疑
- P6～P7 委員会
- P8～P14 一般質問
- P15 意見書
- P16 特集ページ・編集後記

あなたとつなぐ からつ

2026年2月 第94号

令和7年度 唐津市一般会計 12月補正予算

53億2,776万4千円 を可決しました！

令和7年度一般会計予算総額 992 億 9,992 万 7 千円

[12月1日提出分]

【総務費】

- ・新唐津市民会館(仮称)整備Ⅱ期事業費
3億1,255万8千円
・新唐津市民会館(仮称)整備Ⅲ期事業費
1億9,259万4千円

PICK UP 1

【民生費】

- ・新肥前福祉センター(仮称)整備事業費
3,578万8千円

PICK UP 2

【農林水産業費】

- ・漁業用燃油削減対策支援金
2,163万9千円

PICK UP 3

《モーターボート競争事業会計》

- ・設備改良費
1億6,735万4千円

[12月18日提出分:物価高対応分]

【民生費】

- ・物価高対応子育て応援手当支給事業費
3億8,000万3千円

PICK UP 6

【衛生費】

- ・飲用井戸水利用者支援金
1,430万4千円
・簡易水道組合等支援補助金
47万7千円
・し尿汲み取り等手数料補助金
5,254万3千円

PICK UP 5

《水道事業会計・下水道事業会計》

- ・上下水道料金の減免

PICK UP 4

12月補正予算事業の
一部です！



12月定例会

PICK UP

1

総事業費142億1,680千円

新唐津市民会館(仮称) 整備Ⅱ期事業費、Ⅲ期事業費

新唐津市民会館(仮称)改築工事の工期
延長に伴い、事業費を追加。また、整備に伴
う外構工事及び備品導入等を実施する。

Q 増額の内訳は。

A 整備Ⅱ期事業費は工事期間の延長等により3億1,255万8千円の増額、整備Ⅲ期事業費は備品及び公有財産の購入、外構工事その他関連として13億9,032万円の増額となる。

Q 工期延長理由と増額分の市負担は。

A 杭工事における試験掘作業で旧市民会館以前の建物構造物が地中から発見され、撤去が必要となったこと、鉄骨を含む躯体工事区画を分割する必要が生じ、各工区の区画をつなぐ工程増加、分割した区画ごとの養生が必要となり、合わせて約4か月程度の工期遅延となった。また、導入する電気設備、空調設備機器を新基準に転換する必要が生じた。要因は予見できない不可抗力によるもの、また市側の意向により生じたものであるため、増額費用は市で負担する必要がある。

Q クラウドファンディングの実績内容は。

A 募集期間3か月間で、延べ4万9,107人の方から6億5,450万6千円の寄附をいただいた。ふるさと納税制度を活用しているため、返礼品等経費が必要となり、ふるさと寄附金基金繰入金のうち、約3億3,000万円がクラウドファンディングによる繰入額になる。

Q 開館時期は。

A 本体工事は令和8年度中の完成を目指し、工事を進めている。外構工事は令和9年度まで工事が必要となる。開館時期については関係部署と協議を進めており、調整ができ次第報告する。



議案質疑

提出された42件の議案に対して各会派から
12月8・9・18日、15名の議員が質疑を行いました。



詳しくはこちら

PICK UP

2

温泉・健康・交流がつながる 福祉施設の整備 新肥前福祉センター(仮称) 整備事業費

肥前町高串地区に新肥前福祉センター(仮称)を整備する。

Q 事業の内容は。

A 福祉施設の建て替えに向け、設計の基礎資料とするための地質調査を含め建物の基本設計・実施設計を実施。

Q 事業の目的は。

A 建設予定地である旧田野小学校プール跡地において、地盤の強度や土質を把握することを目的に、解体前の段階で敷地四隅付近の四地点にてボーリング調査を行い、建物の基本設計・実施設計を実施。施設整備に必要な建築確認申請に加え、建築物の構造が建築基準法に適合しているかを確認する「構造計算適合性判定」や、国の省エネ基準への適合を確認する「省エネ適合性判定」に係る経費を計上。

Q 施設のコンセプトと活用方法は。

A 新たな施設は、地域資源である良質な温泉を活用した入浴・休養機能をはじめ、介護予防や高齢者の生きがいづくり、健康づくりを基本コンセプトとした福祉施設として整備。各種サークル活動や地域イベントなど多世代が交流できる場としての活用や、災害時の避難所、選挙時の投票所、各種行政サービス提供の拠点としての活用も想定している。



PICK UP

3

漁業事業者への支援 漁業用燃油削減対策支援金

燃油価格の高止まりにより経営が圧迫されている漁業者に対し、燃油削減の取組みに要する経費の一部を支給することで経営継続を支援する。

Q エンジンオイル等の交換に対する支援を行うことだが、補助対象期間が令和7年4月から令和8年1月までとなっているが、その理由は。

A 漁業を取り巻く厳しい状況が続いているため、漁業者を支援するための事業で、すでに漁船のエンジンメンテナンスを実施している方も含め、令和8年1月までに実施された漁業者を広く支援対象とした。

Q これまで船底清掃や燃料購入に要する費用に対し補助を行ってきたが、なぜ今回はオイル交換等に対し支援を行うのか。

A 物価高騰や漁獲量の減少の影響で、出漁に消極的になっている。このため、漁業者が実施する漁船のメンテナンスの経費に対し補助金を支給し、経営負担の軽減と燃油消費量削減の取り組み促進、更には出漁機会の増進を図る。



4 上下水道料金の減免

物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、水道料金及び下水道使用料の減免を行う。

Q 減免の対象者は。

A 国、県、市が直接管理する施設を除くすべての利用者が減免の対象者となる。

Q 対象件数と減免予定総額は。

A 件数は、上水道が約49,300件、下水道が約42,500件。また、減免予定金額は、上水道が1億6,393万5千円、下水道が1億200万8千円で、合計2億6,594万3千円。

Q 減免手続き方法とスケジュールは。

A 利用者からの申請手続きを必要としない「プッシュ型」により実施する。減免までのスケジュールは、令和8年2月と3月の請求分について、それぞれ1期2か月分の上下水道料金の基本料金分を減免する。

Q 一般的な家庭における減免額のモデルケースは。

A 使用水量が30立方メートルの例で、上下水道料金は通常で10,566円となる。このうち基本料金分5,786円を減免するため、実際の負担額は4,780円となる。



5 飲用井戸水利用者支援金 簡易水道組合等支援補助金 し尿汲み取り等手数料補助金

物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、上下水道料金の減免では支援の対象とならない、井戸水、簡易水道、し尿汲み取りの利用者に支援を行う。

Q 支援の内容、対象者、実施方法、件数、スケジュール等の概要について。

A (飲用井戸水利用者支援金)

上下水道局が行う上下水道料金の減免等に併せ飲用井戸水利用の上水道未接続世帯への支援。支援額は、水道料金の最も低い基本料金1,126円を適用し、その2か月分。支援対象者は、市内に住所を有する世帯及び事業者、4,428件の見込み。令和8年2月から6月末まで利用者から直接申請を受け、内容確認等を行い、随時指定の口座への振り込みを行っていく。

(簡易水道組合等支援補助金)

簡易水道組合等の上水道未接続世帯への支援。支援額は、組合ごとに定める月額の基本料金または1,623円を1か月分の上限とし、2か月分を該当する組合等へ補助する。支援対象となる簡易水道組合等は、16組合262世帯。

(し尿汲み取り等手数料補助金)

下水道が整備をされていない、あるいは接続をされていない世帯や事業者を対象とし、し尿汲み取り手数料及び個人設置型浄化槽の維持管理に係る費用に対し支援を行う。市内の許可業者である9業者へ減免分を補助する。支援額は、手数料の最低料金の2回分に相当する3,410円を支援額として設定、対象件数は1万1,935件の見込み。対象期間は、令和8年2月から開始、同年12月までの予定。

6

物価高対応子育て応援手当支給事業費・事務費 会計年度任用職員給与費(物価高対応子育て応援手当分)

物価高の影響が長期化する中、その影響を強く受けている子育て世帯に対し、物価高対応子育て応援手当を支給するもの。

Q 事業の内容は。

A 物価高の影響を強く受けている子育て世帯を強く支援するため、重点支援地方交付金を活用する事業とは別に国の施策として実施する。

Q 対象者は。

A 令和7年9月30日時点で唐津市に住所を有し、児童手当の受給資格がある者(対象児童は、令和8年3月31日までに生まれた児童を含む。)

Q 支給額は。

A 対象児童1人あたり一律2万円。

Q 支給方法とスケジュールは。

A 唐津市から児童手当を受給している人は、児童手当の支払情報等を活用する申請不要の「プッシュ型」と、公務員や出生による新規児童手当認定者は申請型での支給となる。前者は3月上旬、後者は3月中旬以降になる見込み。

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金とは

物価高騰による家計や中小業者への打撃を和らげつつ、地域経済を下支えするため国が自治体に配分する臨時の財源で、給付金、公共料金や学校給食費の負担軽減、事業者支援などに自治体の裁量で使えるのが特徴です。

今回の決定分は、PICK UP4 上下水道料金の減免、PICK UP5 飲用井戸水利用者支援金などです。

唐津市への配分額は **15億5,764万4千円**

今回の決定分は **3億3,436万7千円**

残額の 12億2,327万7千円 は、

今後の支援に活用されます。 (令和7年12月時点)

総務教育委員会

◎宮本 悅子 ○岡部 高広 大西 康之 古賀 博文 松本 増浩 楠崎 三千夫 田中 路子

◎消防ポンプ格納庫建設費

- Q 建物は2階建てとなっており、今回の階段は建物の内側にあるが、その理由は。
- A 外側の階段では雨の場合危険であり、また、腐食防止も含めて内階段とした。
- Q 平屋と2階建ての建築費の違いは。
- A 屋根が多くなる分、平屋の方が高くなる可能性はある。
- Q 駐車場の北側の20cmのコンクリートは撤去するのか。
- A 都市整備部と相談して、対処する。

《現地調査》

- ・消防ポンプ格納庫(町田)
- ・新唐津市民会館(西城内)



新唐津市民会館建設地(西城内)

◎新唐津市民会館(仮称)整備事業費

- Q 備品関係の運営は地域づくり部でなされると思うが、予算執行はどうされるのか。
- A 予算の承認後、速やかに地域づくり部に配当替えを行い、備品の調達などの予算執行を行う。

産業経済委員会

◎山下 寿次 ○久保 美樹 野田 宗作 甲斐田 晴子 中山 亘 水竹 道夫 伊藤 一之

◎モーターボート競走事業会計補正予算

- Q 令和8年度(令和9年3月)に開催されるSGクラシックレースの来場者の見込みは。
- A 6日間で2万7千人以上、最終日は7千人超えを想定。
- Q 増設される発払所のSG終了後の運用は。
- A 今回整備する芝生広場の発払所は、舟券購入者の利便性向上のため常時開設も考えているが、利用状況など総合的に勘案し判断したい。
- Q 選手横断幕架台工事に至った経緯は。
- A 現在の横断幕架台は26枚が掲示可能だが、多い時では60枚程ファンからレース場に送られてくる。これまで不足する分は、架台ではなく生け垣等に掛けて対応してきた。今回の増設で計74枚の掲示が可能となり、横断幕の損傷を防止とともに、場の盛り上げ、選手の士気向上につなげたい。

《現地調査》

- ・ボートレースからつ(原)



ボートレースからつ(原)

都市整備委員会

◎青木 茂 ○宮原 辰海 高倉 寛和 山浦 学 古田 リバー 筒井 紀充 吉村 慎一郎

◎松浦河畔公園再整備事業費

Q 整備事業の内容は。

A 令和9年3月に開催されるSGボートレースクラシックに向けた交差点改良工事と信号機設置工事を行う。公園側に出入口を追加してT字型から十字型の交差点にすることに伴い、中央分離帯を削って右折レーンを整備するとともに、横断歩道を追加する。

◎唐津みなと交流センターに係る指定管理料

Q 指定管理者選定委員会において非公募決定とした理由は。

A 航路事業者に施設を管理してもらうことで、フェリー利用者の利便性向上と、施設の効率的な管理運営を図る。

《現地調査》

- ・松浦河畔公園ボートレース場前交差点(原)
- ・唐津みなと交流センター(東大島)



唐津みなと交流センター(東大島)

市民厚生委員会

◎古藤 宏治 ○黒木 初 江里 孝男 井手 清和 片峰 和也 大河内 正弘 伊藤 泰彦

◎唐津休日急患センターに係る指定管理料

Q 債務負担行為の限度額設定は。

A 限度額は、患者数変動・コロナ影響・物価高を踏まえ、年度ごとに中間決算を見て調整する方式に変更。

Q 指定管理料増額の理由。

A 賃金・薬剤・光熱費の上昇を考慮し、令和8年度は約5,493万円を想定。

《現地調査》

- ・やすらぎ荘(浜玉町東山田)



やすらぎ荘(浜玉町東山田)

◎財産の減額譲渡(やすらぎ荘)

Q 利用料金の上限や市民割など、市として料金の指定や条件などに介入など行うのか。

A 譲渡先の企業が料金を設定するため、市が関与することはない。

Q 10年間の運営が譲渡の条件となっているが、第三者に権利を売却した時の罰則規定などあるか。

A 第三者に譲渡しても、書面で義務を引き継ぐ契約となっている。

一般質問

12月定例会の一般質問は、12月10・11・12・15日の4日間で行われ、20名の議員が登壇しました。



12月議会 市政のここが知りたい

市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員本人が決められたルールにより作成された原稿を掲載しています。

詳しくはQRコードから一般質問の模様をご覧いただけます。



公明党 宮本 悅子

急げ！市民を守る物価高対策

Q 物価高騰の影響が長期化、国の重点支援地方交付金を活用し、支援を早急に示すべきでは。

A 国の趣旨を踏まえ、生活支援・事業者支援など、各部署で調整しながら検討を進めている。

Q 現金給付は迅速な実施が難しいとの答弁であったが、プレミアム商品券など、即効性のある支援を早期に決定すべきではないか。

A 商品券事業は効果が高い一方、対象が限定される課題がある。他施策とあわせ総合的に判断する。

Q 水道料金の減免は市民の負担軽減として即効性が高く、早期実施が可能ではないか。

A 実施した経験があり、確定すれば速やかに対応できる。

◎他の質問

・若者・子育て世帯の定住促進支援について

・RSウイルス感染症の重症化予防について



詳しくはこちらで



志政会 古藤 宏治

熱い走りを、美しい九州唐津、を世界へ

Q 自転車で九州を駆け巡る国際自転車レース「ツール・ド・九州2026年大会」とは。

A 2023年から開催されているUCI(国際自転車競技連合)公認のサイクルロードレース大会で、令和8年10月10日に佐賀県と福岡県の共催が決定された。九州の未来と夢を自転車でつなぎ、駆け抜ける。いつもの道が、街が、舞台になる。世界の自転車ロードレースのプロ選手達が九州に集い、美しい景観の中で熱いドラマを繰り広げる4日間の国際レースとなる。

Q コース決定までのスケジュール・観光効果・経済効果・大会の機運醸成について。

A 令和8年3月に開催市町が決定され、同年5月にコースが公式発表される。出場者や大会関係者の宿泊など経済効果。機運醸成イベント等を県と一緒に企画したい。



詳しくはこちらで



志政会 中山亘

合併20年を経て、真の一体感醸成について

Q 合併後20年を経過するが、二十歳の祝典については、会場等の一本化をどう考えるか。

A 現在8会場の二十歳の祝典について、市の一体感醸成のため会場一本化を検討中。高校2年生へのアンケートの一本化希望が55%と僅差だった。来年1月の参加者調査の結果も踏まえ、開催方法を慎重に判断する。

Q 「唐津はひとつ」という理念を市民生活の実感として定着させるために、市長の考えは。

A 新市誕生20年を迎える中、行事の統一は一部進んでいるものの、市全体の一体感は十分ではないと認識している。二十歳の祝典や戦没者追悼式などは、地域

の歴史や思いを尊重し一本化へ向け調整を進める考え方である。若い世代が地域に関わりやすい環境づくりや体験機会の充実を図り、「唐津はひとつ」の理念が自然と市民に根付くよう取り組んでいく。



詳しくはこちらで



新生会 古賀博文

クルーズ船の活性化と安全・安心の唐津市

Q クルーズ船の誘致・活性化について。

A クルーズ需要は今後益々増加するものと言われている。今後、消費拡大に向けた取り組みは勿論、また唐津に訪れたいと思って頂けるような取り組みを進める。また、関係機関と協力し、情報発信していくことで、クルーズ寄港地「唐津」の知名度向上に努めたい。

Q マンション管理の適正化の推進について。

A 区分所有者の意識の相違、意思決定の難しさ、高齢化や賃貸化による管理能力の低下、利用形態の混在による権利・利用関係の複雑さ等、多くの課題を有している。管理不全の防止、中長期修繕積立金等の不足、管

理組合の役員不足・総会の運営や議決が困難になるといった問題等に対処する必要がある為、国の方針に基づき、「唐津市マンション管理適正化推進計画」を、令和5年6月に策定した。



詳しくはこちらで



公明党 筒井紀充

「手話リンク」で安心の相談を

Q 聴覚や発話に困難のある方への支援である本市の手話・要約筆記奉仕員派遣制度の現状と課題点は。

A 手話通訳者等の人材が不足しており、急な派遣依頼があつた際に調整が難しい場合もある。

Q 佐賀県が導入をした、通訳オペレーターが仲介して電話でリアルタイムに会話をつなぐ「手話リンク」の導入について市の考えは。

A 「手話リンク」は、総務大臣指定の一般財団法人日本財団電話リレーサービスにより、令和7年4月から提供が開始された法人向けのサービスで、利便性向上につながると認識。事前登録不要で行政の情報をリアルタイムで得ることが可能となるため、他自治体の例を参考

に導入等について検討していきたい。

◎他の質問

- ・イベント時のごみ対策について
- ・市立小中学校体育館のエアコン設置について



画像提供元: 総務大臣指定 電話リレーサービス提供機関
一般財団法人日本財団電話リレーサービス



詳しくはこちらで



新生会 野田宗作

企業版ふるさと納税制度の積極的利活用を!

Q 企業版ふるさと納税は単年度縛りがあるため、企業側は数年連続の寄附を約束できず、結果として複数年のプロジェクトを組みにくいのではないかと考える。企業版ふるさと納税の課題は？重要財源と認識しているか。

A 課題として、時限的制約、安定的財源にはなりえない、本市として企業が応援したくなる魅力ある事業の立案、企業へのPR不足などの課題がある。貴重な財源確保の一つとして捉えている。

Q 単年度縛りの課題克服のため、多くの自治体が基金を設置し、複数年事業に充当する仕組みを整えている。本市として、基金設置で得られるメリットは。

A 基金を設置している場合、当該年度の事業費を超える寄附額を基金に積んで、翌年度に基金から充当することが可能となるため、大口の寄附に対応ができるメリットが考えられる。



唐津市の事例 皮むき間伐

詳しくは[こちら](#)



新生会 大河内正弘

地域コミュニティの持続とスポーツの役割

Q 人と人の繋がりが希薄になってきている昨今、スポーツイベントや地域スポーツクラブは年代や性別社会的立場を超えて様々な人々が出会い交流する場を提供する大事な要因となるが、市としての考えは。

A 各地区スポーツ協会を中心に、既存の大会やスポーツイベントを継続的に開催していくとともに、施設のトイレの様式化、ユニバーサルデザイン化を進め、誰もがいつでも気軽にスポーツができる環境や体制の整備が必要だと考えている。市民の誰もが「する・みる・支える」ことで健康の維持増進、賑わいの創出、社会的な交流、生涯にわたり生きがいを作ることができるよう

に努めることが、地域コミュニティの継続につながるのでないかと考える。



詳しくは[こちら](#)



志政会 久保美樹

第1子からの保育料軽減策を！

Q これまでの市の支援と、今後の支援拡充は。

A 国の保育料の基準額より低い金額を設定。峰市政における新規の施策・拡充策としては、第1子のカウントを小学6年生とし、長子が小学生になった第2子以降の保育料軽減が可能。また、年収360万円未満の世帯の5歳児の保育料の上限を1万円に設定。その他、医療費助成の対象を18歳年度末としている。

Q 第1子からの保育料軽減について市長の考えは。

A 多子世帯への手厚い負担軽減を進めてきた一方で、「第1子の時が一番大変」との声も多く寄せられている。安心してこどもを生み育てられる環境づくりに向け、第1子からの保育料の軽減策の必要性について「本

市の重要課題」として検討していく。

◎他の質問

・国の経済支援策を受けての本市の取り組み



詳しくは[こちら](#)



新風唐津 井手清和

国民負担率と新市民会館運営について

Q 唐津市民の税負担率は。

A 約500万円の年収で税金と社会保険料合わせて134万円で約36%。消費税等ほかの税金も合わせると約48%程となる。

Q 高市政権の積極財政に対して市として具体的な策はあるのか。

A 国の交付金や補助金を活用し商工会や民間と連携を強化して経営改善、人材確保、生産性向上に向けた取り組みをしていく。

Q 新市民会館の運営計画はどのようなものか?また運営の経費等はどうなっているのか?

A 大ホールの年間稼働率を旧稼働率の35%から55%ま

で上げるため様々な企画をしていきたい。

新市民会館の運営収支見込みでは、歳出が約1億8,573万円、歳入が約7,330万円となり、約1億1,243万円のマイナスが見込まれる。



詳しくはこちらで



志政会 宮原辰海

地域コミュニティについて

Q 市報10月号でも広報された「市民センターのあり方」のパブリックコメント(意見公募)について、提出された人数と主な意見は。

A 市民センターの業務集約や市民センター庁舎と公民館の複合化、行政機能の統合、人材の育成などについて82名の市民の皆さんからご意見を頂いた。(ホームページにて公表)

Q 第5回公共施設再編審議会の意見等について。

A 市民センターのあり方をはじめ、行政機能と公民館機能による効果が課題である等の意見があり、市としては地域課題に対応するために柔軟な組織体制づくりを検討していく。

また、速やかに会議録を公表し周知に努める。

Q 地域コミュニティの拠点について市の考えは。

A 今後は公民館が「核」になると考え、地域の皆さまが学び、結びつき、集う、地域の中心である公民館に行政機能を複合化していく。



詳しくはこちらで



新風唐津 松本増浩

虹の松原の「保護と利用の両立」について

Q 唐津市の「虹の松原」の位置づけと国の支援制度等との関係について。

A 虹の松原は、江戸時代初期に防風林として植栽され、国の特別名勝に指定されている貴重な文化財である。松原の大半は国有林であり、文化財としての特別な支援制度はない。なお、教育委員会では学習活動を通じて、郷土愛の醸成に活用している。

Q 虹の松原の維持管理における課題と連携強化について。

A 虹の松原は、森林管理署を中心に、国・県・市が関係法令に基づき連携して保護している。今後も、「虹の松原

保護対策協議会」を軸に、地域と連携しながら保全と活用を進めていく。



詳しくはこちらで



唐誠会 山浦 学
地域防災について

Q 現在のハザードマップの更新状況は。

A ハザードマップの更新は、国や県の指定変更などに合わせ適宜実施。直近では令和5年3月に改訂し、全戸配布。パソコンやスマートフォン等で縮尺を変えて確認できる『唐津デジタルマップ』を公開し、常に最新のリスク情報にアクセスできる環境を整備済み。

Q 住民への周知・啓発は行っているか。

A 周知と啓発については、ハザードマップの地図上のリスク情報と実際の現地の状況を照らし合わせるなど、安全な避難経路や危険箇所を具体的にイメージし備えとして重要。

◎他の質問

- ・農業者支援について
- ・県道浜玉相知線の渋滞緩和について



詳しくはこちらで



新生会 楠崎三千夫
まちづくりについて

Q まちづくりには人口減少対策で、企業誘致が有効な方法と考える。工業団地の現状は。

A 造成が完了した工業団地はないが、問い合わせは頂いている。

Q 都市計画マスターplanの内容を読む限りは、浜崎駅南はコスメパークの案があり、工業団地の適地と考えるが。

A 雇用創出の為には企業誘致が必要である。浜崎駅南口周辺は、市道までは住宅地、産業地であり南側は農業振興地域である。開発する場合は、保水能力の確保が必要で、貯留浸透機能の保全・向上を図り雨水流出

を抑制し、地域の環境に影響を及ぼさない様な施策が必要である。

Q これからの企業誘致の考え方。

A 企業が求める面積やインフラの整備状況等条件を満たすよう国県と連携しながら進めたい。



詳しくはこちらで



新生会 岡部高広
新市民会館(仮称)の管理と運営は

Q 開館の営業活動は。

A 市出身や本市にゆかりのあるアーティストと接触し凱旋公演の可能性を探ったり、市外のクラシック音楽団体との意見交換を行っている。

Q 施設愛称やロゴマーク募集は。

A 完成に向けた機運醸成もかねて、令和8年度に決定し、施設の周知・PRに活用していく。

Q 開館の予定期は。

A 庁内関係部署と協議を進めている。

Q 市長の開館に向けた思いは。

A 人口減少が進んでいる今だからこそ、市民が交流し、ともに活動する場が求められており、重ねて唐津の魅

力を広く発信していかなければならない。新市民会館は、市民の皆様に誇りをもっていただける「令和の文化の殿堂」にしていく。



詳しくはこちらで



新生会 高倉寛和
漁業の振興について

Q 新エンジンへの載せ替えについては、国庫補助がある中で、現場からの需要が高まっているオーバーホールへの国、県、市の補助はないのか。

A 現在、新エンジンへの載せ替えに対する補助については、国と市で行っているが、オーバーホールに対する、国、県、市の補助はない。

Q 漁業者の減少に歯止めをかけるためにも、漁業者ニーズが高いオーバーホールに対する補助へのシフトチェンジが必要な時期にきているのではないか。

A 県外においては、鹿児島県南さつま市において市単独で補助が行われている。今後は、先進事例である南さ

つま市の事例の調査を行い、県や漁協と協議をしながら事業の研究を行いたい。



詳しくは[こちら](#)



唐津市民党 田中路子
市民の為になる要望に 市長はやる気無し

Q 唐津市内のみで使用出来る出産祝い券30万円分を発行して欲しい。

A 新たな制度の創設を検討する予定は無い。

Q 加齢性難聴を含めた認知症予防に対する補聴器の助成をして欲しい。

A 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の次期策定において、助成について議論していきたい。

Q 新卒者または新婚夫婦に対し住民税50%分の金券の発行をして欲しい。

A 新卒者の住民税50%は3~5万円程度この金額では転出を抑制する効果を見出せない。

Q 制服代1人7万円助成をして欲しい。

A 新入生の約2割を超える生徒に支援している。

Q 重度障がい者に対する支援に取り組んでいくべきと思うがどうお考えか。

A 国の制度の改正や報酬改定の動向を注視しながら適切に対応していきたい。



詳しくは[こちら](#)



新生会 吉村慎一郎
上場土地改良事業次へのステップ

Q 国営かんがい排水事業の地区調査の状況は。

A 令和3年度から開始しており、事業構想として①受益面積3,302ha②主要工事はダム取水施設、放流施設の改修、揚水機場のポンプや電気設備等の改修、水管理施設の改修を行う③事業期間は令和9年度から令和18年度の予定④総事業費は、令和6年度単価で約220億円の予定。

Q 国営かんがい排水事業の負担割合は。

A 国66.6%、県25.4%で残りの8%を唐津市と玄海町、上場土地改良区で負担する。

Q 同意徴集及び地元説明会のスケジュールは。

A 令和8年度に、関係者の同意徴集が必要で、国による事業計画の報告縦覧等の手続きが終わる11月以降、速やかに行う予定。



詳しくは[こちら](#)



唐誠会 片峰和也

シビックプライドを育む地域戦略について

Q 黄金に輝く唐津城構想に対する市の考えは。

A 唐津城の瓦を金箔にするというアイデアは大変面白く夢のある提案だが、市の景観重要建造物として指定をしている。現在の城内地区の景観ルールのもとでは、実現が難しい。

Q 鏡山ロープウェイ構想に対する市の考えは。

A 鏡山ロープウェイ構想は話題性や誘客にも寄与する可能性を持ち合わせた夢のある構想であると考えている。しかし市が保有する公共建築物全てを維持していくことが困難であり財政健全化に向け積極的に施設の再編にも取り組んでいる状況であり、まずはライフサイクルコストの削減に努めたい。

◎他の質問

- ・重度心身障がい者医療費助成の現物給付について
- ・高畠2号線これからの進捗について



詳しくはこちらで



日本共産党 黒木初

5m² 70万円 割高な石畳整備

Q 令和7年6月議会で市道明神線の石畳化は、共産党を除く賛成多数で可決されたが、残り区間の計画は来年度示されると認識している。川越市視察の状況を踏まえると、現行のアスファルト舗装を維持する方が効率的かつ経済的ではないか。①「職員が修繕」とは一般職員か。教育体制は②維持管理費はいくら想定しているのか③曳山巡回時の事故防止の観点から、石畳風半たわみ舗装への変更や計画見直し・中止を検討すべきではないか。

A 軽微な補修は道路維持を担う職員が既存資材で対応し、専門的補修は業者対応とする。大規模補修は1日約5m²で約70万円を見込む。視察結果等を踏まえ、現

時点では石畳舗装を継続し、巡回前点検を徹底する。



詳しくはこちらで



志政会 大西康之

市民の安全・安心のために!!

Q 唐津大橋4車線化が決定され、工事も進んでいる。その唐津側に大土井交差点があるが、この交差点渋滞が常態化している。ここを改良しないと4車線化の効果が半減するのでは。

A 変則五差路交差点で、改良し渋滞を解消する必要がある。松浦大堰から接続している市道の取付箇所を変更し、通常の四差路交差点に交差点改良を検討中。地区役員とも相談中。

Q 佐賀唐津道路(相知～唐津間)提案書では唐津ICへ接続とされているが、決定事項ではないとの事。千々賀山田IC、北波多ICも含めどこが最良な場所なのか、検討すべきでは。

A 提案書の表記については関係機関と協議する。また、整備促進期成会で、効果的な提案活動に繋げるため、令和4年度に、国県も参加される勉強会を設置している。ここで接続先の可能性がある各ICについて、議論を深める。



詳しくはこちらで

意見書

市議会では、権限を持っている行政機関に意見書として提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

■地域医療の拡充を早急に求める意見書

少子・高齢化社会の進行、美容医療ニーズの高まりなど、わが国の医療をとりまく環境は大きく変化し、医師が都市部に集中し、地域における医師及び看護師をはじめとした医療スタッフが不足している。今後、過疎化が進む地域では、「無医地区」となる地域が増えていくと予測され、大きな社会問題となっている。

また、昨今の原価高、人件費高騰、働き方改革の影響で、病院経営はますます厳しく、現在地域の公立病院の9割が赤字経営となっており、本市の公立病院も令和6年度は赤字決算となっている。

特に、地域においては、産科や小児科開業医の後継者不足や高齢化が顕著で、医療体制が崩壊の危機にあると言っても過言ではない。本市においても一次医療を担う小児科の病院数は全国平均に対し大変少ない状況で、子育て世代に不安が広がっている。加えて、本市を含む佐賀県北部医療圏の拠点病院である唐津赤十字病院の周産期医療体制は、緊急手術等の対応が多い一方で、医師不足による過重負担労働が続いている。現状の体制ではハイリスク妊娠婦の受け入れが困難となり、地域全体の周産期医療体制が崩壊しかねない危機的状況である。

そのような中、本市では唐津・東松浦小児医療に関する協定(唐津市、玄海町、唐津東松浦医師会、唐津赤十字病院)に基づき、唐津赤十字病院内に設置された地域連携小児救急センターに対し、財政的支援を実施することで周産期医療を支えている状況である。

地域医療は、市民の生命・健康に直結する不可欠なライフラインの公共サービスであり、国民が安心と信頼の上に地域医療にアクセスできる医療提供体制を確保することは、国の責務でもあると言える。特に、だれもが安心して子どもを産み、育てられる環境を整備する上で、産科・小児科医の確保対策は喫緊の課題である。

地方自治体では、医療体制維持に向けた支援体制づくりなど様々な取組を実施しており、本県も産科・小児科医確保のための奨学金制度を創設し、本市でも前述の通り補助金による支援などを実施しているが、こうした自治体レベルの取組みでは、限界があると言わざるを得ない。

よって、医師総数の確保に責任を有する国が、地域医療の現状を十分認識し、早急な対策に取り組まれるよう強く要望する。

■地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、本市は他の地方公共団体と同様に、急激な少子・高齢化に伴う社会保障制度への対応、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰化対策など極めて多岐にわたる新たな役割が求められている。

一方、財政面においては近年の異常気象等における災害の復旧や老朽化施設の改修等に加え、市民生活に直結する行政サービスにおいても人件費・物価高騰などにより財政負担が増加している。

さらに、これまで地域コミュニティで担ってきた里道や水路等の除草や土砂の浚渫などの法定外公共物の管理において、人口減少・少子高齢化により地域での対応が困難となり、国や自治体への財政要望も現実となっている。

政府はこれまでいわゆる「骨太の方針」に基づき、地方の一般財源総額の前年度水準を確保する姿勢を示してきた。しかし、前述した本市をはじめとした地方公共団体の増大する行政需要に鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められる。

このため2026年度政府予算または地方財政の検討にあたっては、現行の地方の一般財源総額の確保をより積極的に踏み出し、社会全体として求められている地方財政の充実・強化を実現するよう求める。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。



詳しくはこち

特集 団体さんご紹介 唐津虹の会

唐津虹の会は、視覚に障がいのある方のために、市報や保健だより、小説、新聞記事など、文字で書かれた情報を音声で伝えるボランティア団体です。グラフや図、写真についても、耳で聞いて分かりやすいように工夫して音訳しています。

長い活動の間に、数々の賞状などを頂きました。これからも、会員一同視覚障がいの方々の為に、音訳のボランティア活動を続けていきます。



会員が録音したCDは、近代図書館で保管されており、誰でも借りられます。



約40人の利用者へ音訳CDを無料で提供しています。毎年、利用者の方々と交流会や朗読劇も行っています。



1973年に発足し、2023年に50周年を迎えた。令和6年度 厚生労働大臣表彰も受賞しました。



2021/11/09

小学校の福祉教育授業で、音訳ボランティアの説明や活動の様子を紹介しました。

唐津市議会がインターネットで視聴できます

【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算特別委員会

【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットでも

視聴可能です。

※録画配信については、会議終了後、
概ね3日（土・日・祝日を除く）
以内に配信を開始します。



唐津市議会中継

唐津市議会 インターネット中継

検索

編集後記

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと存じます。

さて、暦の上では春（立春）とは申しますが、依然として厳しい寒さが続いております。

皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年も編集員一同、市民の皆様に分かりやすい『議会だより』をお届けできるように全力で取り組んでまいります。

今後もご意見やご感想があればお寄せ下さい。
(高倉寛和)

「唐津市議会報」編集委員会メンバー

委員長	久保 美樹	委員	片峰 和也
副委員長	岡部 高広	委員	大河内正弘
編集長	黒木 初	委員	古田リバー
委員	野田 宗作	委員	筒井 紀充
委員	高倉 寛和		

唐津市議会だより / 第94号

令和8年2月1日

◎発行:唐津市議会 ◎編集:「唐津市議会報」編集委員会

■唐津市議会事務局内 〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号
TEL72-9162 FAX75-1515